

■■■■■■火の島と水の島■■■■■■

屋久島町議会だより

令和5年（2023年）3月 NO.61

健康の森公園にて。
仲間と一緒に、元気にグラウンドゴルフ！



町民の声カウンター

27

R3.10～
議会だより宛てに届いた意見数

〈今号の主な内容〉

令和4年第4回定例会・・・・・・・・・・P 2

令和4年第2回臨時会等・・・・・・・・・・P 12

一般質問・・・・・・・・・・P 14

特集「屋久島高校生徒の意見交換」

議会の動向等・・・・・・・・・・裏表紙

令和4年第4回定例会

会期：12月6日（火）～12月16日（金）

12月6日（火）	開会
12月7日（水）	一般質問：岩川（俊）、中馬、高橋、緒方
12月8日（木）	一般質問：日高、岩川（卓）、大角、小脇
12月9日（金）	一般質問：渡邊（博）、岩山、真辺
12月12日（月）	常任委員会（総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会）
12月13日（火）	常任委員会（総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会）
12月16日（金）	最終本会議

	結果	岩川卓誉	内田正喜	小脇淳智郎	中馬慎一郎	真辺真紀	相良健一郎	岩山鶴美	渡邊千護	榎光徳	緒方健太	高橋義友	日高好作	岩川俊広	渡邊博之	大角利成	石田尾茂樹	関連ページ
令和3年度一般会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度上水道事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度簡易水道事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度国民健康保険事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度介護保険事業事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度診療所事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度農業集落排水事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度船舶事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度電気事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
令和3年度後期高齢者医療事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
屋久島町道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
屋久島町道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
損害賠償の額を定めること	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
屋久島町町営船建造及び船舶事業運営基金の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町情報公開条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	6
屋久島町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	6
屋久島町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町職員の再任用に関する条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	6

	結果	岩川卓誉	内田正喜	小脇淳智郎	中馬慎一郎	真辺真紀	相良健一郎	岩山鶴美	渡邊千護	榎光徳	緒方健太	高橋義友	日高好作	岩川俊広	渡邊博之	大角利成	石田尾茂樹	関連ページ
屋久島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町職員の定年等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	6
屋久島町立学校職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
水道事業に従事する職員の給与の種類及び基準に関する条例一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度一般会計補正予算(第9号) 【委員会からの修正案】	否決	○	×	○	×	○	×	×	○	×	欠	○	×	×	○	×	—	7
令和4年度一般会計補正予算(第9号) 【原案】	可決	×	○	×	○	×	○	○	×	○	欠	×	○	○	×	○	—	10
令和4年度上水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度診療所事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度船舶事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度電気事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町教育委員会委員の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町総合図書館及び安房図書室の創設の請願の撤回	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	5
安定した介護サービスの体制整備への取り組みについて【陳情】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	7
屋久島町総合福祉センター屋根改修工事請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
屋久島町エネルギー回収型廃棄物処理施設建設工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	13
岳南中学校大規模改修工事(建築2工区)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	
令和4年度一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	

町長からの行政報告

公明党離島対策本部
と意見交換

10月1日に公明党離島振興対策本部が来島し、町内視察と意見交換を行った。離島活性化交付金のメニュー拡大、屋久島空港の早期整備、全国旅行支援の継続、物価・燃油高騰対策、国有林の有効活用等への尽力を訴えた。

職員採用試験を実施

10月16日及び30日に職員採用試験を実施。残念ながら土木職や口永良部島勤務職員の申し込みはなかった。

11月1日に11名の合格を決定した。

塩田康一県知事が
口永良部島に来島

11月15日及び16日に、口永良部島に宿泊され、新岳噴火による被災状況や島民の課題について、直接確認して頂く機会となった。

離島振興法が改正され
10年間の延長へ

11月18日に改正離島振興法が国会で可決され、令和15年3月31日まで延長となった。

公共事業の補助率かさ上げ等の継続、都道府県に対する離島市町村への支援の努力義務、小規模離島の日常生活に必要な環境維持が図られるよう配慮する規定等が新設された。

全国離島振興協議会会長として取り組み、10年間は国策として保障されたことは、ひとまず役割を果たせたと考えている。

口永良部島簡易水道事業に係る住民訴訟の経緯

11月2日に鹿児島地方裁判所において、第1回の口頭弁論が行われた。当日は提出された書類の確認があった。第2回は12月21日。

新型コロナウイルス
感染者数の公表を中止

9月20日から鹿児島県における感染者数の把握方法が変更されたことにより、町内での感染者情報の公表を中止した。

警戒レベルも5段階から3段階に変更し、熊毛郡内での感染者数が100人を超えると警戒レベル3となる。

一般会計補正予算

5億941万3千円を追加し、
総額125億3,929万7千円に

口永良部島出張所改修費

1,800万円(追加)

元々3,500万円の予算に対し、1,800万円を追加しているが、追加の内容は。
また、財源はどこからか。

議員の視点



緒方健太

答

総務課長 6月に行われた住民懇話会での要望を聞き入れ、大きく変わったのはトイレのバリアフリー化。車椅子で入れるように。また、当初見込んでいない外壁補修が入ってきた。当初はだいき基金からの充当を提案したが、(2階に)職員の住居スペースもあるため、公共施設整備基金から1,800万円の充当を考えている。

地域脱炭素マスタープラン策定業務

1,000万円

この業務の内容は。

議員の視点



答

観光まちづくり課長 C02フリーの取組等について、思うように展開できていない。水力発電を活かした水素やアンモニアの製造、バスやトラックをEV自動車に転換する等の取り組みを、屋久島電工と協議しながら進めたい。

旧尾之間支所解体工事

△ 4,700 万円 (減額)

敷地内の建物以外のアス
ファルト、コンクリ舗装は
撤去するのか。

コンクリートの瓦礫で埋め
立てた後は、がれきを隠す
ために表土を入れるのか。

議員の視点



大角利成

答

政策推進課長 アスファルト、コンク
リート舗装部分は、今後活用予定の方
の建築家と詰めていく。

また、コンクリートの再生材で埋め立ててい
る場所は駐車場として活用予定。再生材の上
に表土を敷く方が良いのか、排水の状態等も
見極めたい。

ごみ処理施設工事施工管理委託

1,000 万円

議員の視点

この予算の詳細な説明を。



中馬慎一郎

答

生活環境課長 屋久島町エネルギー回
収型廃棄物処理施設（新しいごみ処理
施設）の入札が終わり、業者が決定した。今
回の施工が、設計から工事の前半までという
ことになり、施工管理を委託することになる。
今回は、令和4年度に必要となるであろう分
の予算を1,000万円計上した。

町の教育委員を任命

令和4年12月25日で、教育委員の任期満
了を迎えられました 市橋 六男 氏の後任とし
て、大門 裕一 氏が任命されました。

市橋さん、お疲れさまでした。大門さん、
これからよろしくお願い致します。

屋久島町総合図書館等の創設の
請願について、内容を見直したい
というご本人の申し出により撤回

世界自然遺産登録 30 周年検証委託

30 万円

今年は、世界自然遺産登録から 30 周年を
迎えることから、当時、世界自然遺産登録に
ご尽力を頂いた方々や、これからの屋久島の
課題についてのインタビューを行うことで、
この 30 年を振り返る事業を民間有志と連携
して実施する。



インタビューの様子

物価高騰に係る町営牧場の肥料購入に
かかる経費

1,000 万円

近年の物価高を受け、肥料購入にかかる経
費を増額。



町営旭牧場

一湊海水浴場施設工事請負費

850 万円

今年開催予定の「燃ゆる感動 かごしま国
体」の正式競技オープンウォータースイミン
グ会場の施設整備を行う。

オープンウォータースイミング

9月18日(月) 於 一湊海水浴場



一湊海水浴場の施設

総務文教常任委員会

情報公開条例の一部改正

詳細な内容は。

議員の視点



答 総務課長 これまで個人情報
は「個人を識別する情報」と
いう定義だったが、「個人の権利・利益を害
する恐れがあるもの」まで定義が広がった。

渡邊博之

職員再任用の条例を廃止

問 渡邊博之 これまでに再任用された職
員はどれ位いたのか。

答 総務課長 旧町時代も含め、再任用の
希望者はいなかった。

定年前再任用短時間勤務 職員制度の導入により、 職員給与条例を一部改正

新たに設けられる60歳以上
の「専門員」の職務内容や
給与についてはどう変わる
のか。

議員の視点



岩川卓誉

答 総務課長 給与に関しては70%程に減
額される予定。係長との関係や部下を
もつかどうか、職務内容については今後検討
する。

今後の職員定数にも影響す
ると思うが、新規採用につ
いての考え方は検討してい
るのか。

議員の視点



榎光徳

答 総務課長 新規採用なし、という状況
は避けるようにと、国からの指導もある
ので、年齢構成も考えながら協議していく。

旧尾之間支所庁舎解体 工事費を減額

議員の視点

旧尾之間支所庁舎解体工事
請負費減額の詳細は。



答 政策推進課長 当初、近年の
物価上昇に鑑みて、1.1倍で予算を計
上していた。また、1工区、2工区の撤去内
容に、若干重なっている部分があり、その分
を減額した。

八幡小学校の修繕

問 相良健一郎 どのような工事を計画
しているか。

答 教育総務課長 来年度、複式学級にな
るということで、教室の後ろ側にも黒
板や照明器具等を設置するため。

船舶事業特別会計において 自動車航送の収益が減少

問 岩川卓誉 自動車航送収益が下がって
いる理由は。

答 政策推進課長 前回の議会で、自動
車航送収益が伸びる予想を立てて補正
予算を組んだが、実際には伸びなかった。口
永良部島の、公共事業の状況に左右されたの
ではないかと思う。

定年前再任用短時間勤務 職員制度とは？

令和5年4月1日以降に、60歳に達した日
以後、定年前に退職した者を、短時間勤務の
官職に採用できる制度。（人事院HPより）

令和5年4月1日に、改正地方公務
員法が施行されたことを受けて、地方
公務員の定年が段階的に引き上げられ
ることになりました。屋久島町でも、
令和14年にかけて、2年に1歳ずつ、
定年が引き上げられます。

その中で、60歳に達した日以降、定
年前に退職した職員は、本人が希望す
れば、短時間勤務の職に採用すること
ができます。



じょうもん博士

口永良部島出張所改修費の減額修正案を委員会可決

修正案提案理由 提案議員：岩川卓誉

- ①基金の繰り出しではなく、特定離島ふるさとおこし推進事業等の有利な補助金の活用を前提に、当初予算で再度提案すべき。当初予算で議会から指摘があったにもかかわらず、これまで町は、補助事業を検討していない。
- ②出張所の2階が住宅というのは、働く環境として適切か。
- ③口永良部島の住宅事情も解決すべく、誰もが入居できる住宅を、出張所とは別の場所に新たに建設すべき

榎光徳（原案賛成） 町長が意見交換会もしているし、2階の出張所を1階に降ろす等、利便性を図っている。職員の居住についても、本庁も警備員を置いているし、何かの時にすぐ受け答えができる安心感があると思う。

渡邊博之（修正案賛成） 2階の住宅の案は、単身者用と世帯用に分けられているが、単身者が結婚をした場合は、そこで家族生活できない。住民の急ぐ気持ちはわかるが、補助事業を活用したら4,000万円が浮くかもしれないという説得をし、理解を得てから進めるというのは可能なのではないか。

岩山鶴美（原案賛成） 補助事業を使うと、2階に居住スペースは作れなくなる。2階のスペース活用のアイデアが無い。6月の口永良部島の意見交換の場で、反対意見も無かったとのことなので、皆さん納得しているのでは。

高橋義友（修正案賛成） 3月議会で計上された3,500万円の方も全てが一般財源で、当時の課長は補助事業も検討するとのことだった。ところが今回、そういう引継ぎも無かったということで、一般財源で1,800万円の追加が出てきた。船待施設は補助事業で改修してもらって、住宅は新たに別の場所が良い。やはり2階は住宅にせずに、避難所や、会議室としての使用を見越して残す必要があるのでは。

内田正喜（原案賛成） 当局の対応に不満はある。今回の1,800万円も補助事業ではなく一般財源で持ってきた。ただ、3月に議案を通して、500万円をかけて設計している。今期のうちに事業をした方が良いと思う。

相良健一郎（修正案賛成） 今回の1,800万円を組む中で、補助金の申請も何も考えていないということが引かかる。それと、2階部分を住居にすることには反対。不確定要素の部分もあるが、今のところはこの修正案に賛成したい。

■採決■

①修正案に賛成：4名

岩川卓誉、相良健一郎、高橋義友、渡邊博之

②修正案に反対：3名

内田正喜、岩山鶴美、榎光徳

現地視察調査

12月13日に、平内民具倉庫、尾之間図書室、尾之間中央公民館、旧尾之間支所解体工事、歴史民俗資料館を現地視察。

民具倉庫、歴史民俗資料館は、公共施設等管理計画や再配置ワークショップに基づいた検証が求められる。

また、旧尾之間支所の解体工事の進捗状況について、確認を行った。



歴史民俗資料館を視察



旧尾之間庁舎解体工事の様子

産業厚生常任委員会

ふるさと納税増額の根拠は

ふるさと納税の返礼品として焼酎が多いが、品薄になっていると聞く。ふるさと納税2億5,000万円増額の根拠は。

議員の視点



真辺真紀

答 観光まちづくり課長 昨年に引き続き焼酎は品薄の状態ではあるが、事前に出せる量を聞いている。それも考慮し、昨年の実績をベースに増額を提案している。

住宅が不足しているが、不動産業者と連携はとれているか

町にはどのくらい相談があるか。また、空き家バンク等も活用し、不動産業者とも連携を取ってほしい。

議員の視点



渡邊千護

答 観光まちづくり課長 年々、いろいろな相談が増えている。空家バンクの情報も提供しながら、不動産業者ともしっかり連携していきたい。

青少年旅行村のトイレ改修

これまでも要望してきて、やっと着手して頂いた。今回3基を洋式化とのことだが、年次計画は。

議員の視点



大角利成

答 観光まちづくり課長 全てを洋式化していくというわけではない。和式も残しつつ、段階的に改修していく予定。

一湊海水浴場休憩所はどのような修繕を行うのか

問 真辺真紀 一湊海水浴場の休憩所について、屋根の爆裂と塗装を全面的に修繕するのか。また、他の施設に関しては修繕の予定はないのか。

答 観光まちづくり課長 町長と現地確認をする中で、迎える側として最低限の整備をしなければならないということになった。天井部分の爆裂がひどく、修繕したい。春田浜と栗生浜の休憩所についても、かなりの年数が経っているので、順次対応したい。

ごみ処理場炭化炉の屋根修繕の状況は

問 真辺真紀 ごみ処理場がうまく稼働していないとのことだが、屋根の修繕はいつ終わるのか、また、溜まっているごみの処分にどれくらいかかるのか。

答 生活環境課長 順調にいけば年内に処理ができるようになり、1月を過ぎれば安定的にごみ処理ができるようになる。

永田の林道萩原線工事費700万円減額

議員の視点

700万円減額になったのは、県の方で採択されなかったということか。



岩川俊広

答 建設課長 県への要望も多いところだが、補正でも付けばと思い、予算を残していた。今年度の採択は難しそうである。来年度は採択される見込み。

牛温恵の普及状況は

議員の視点

牛温恵（分娩や発情の監視システム）はどのくらい普及しているか。

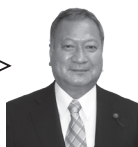


答 産業振興課長 細かい調査は行っていないが、農家のIT化は進んでいる。

現在のごみ処理施設 管理運営業者の契約期間は

現在の委託業者の契約期間は。また、今後の運営管理に関する委託契約について、町はどう議論を進めるのか。

議員の視点



石田尾茂樹

答 生活環境課長 現在の処理業務の委託は、令和4年度～6年度の3か年で債務負担行為を立て、契約をしている。今後、新焼却場を建設するにあたり、新たな運営について議論していく必要がある。

債務負担行為ってなに？

債務負担行為とは、歳出予算の金額、継続費の総額又は繰越明許費の金額に含まれているものを除き、将来にわたる債務を負担する行為です。

つまり、「将来確実にかかる経費」について支出することを約束することで、あらかじめ議会の議決を経なければなりません。ごみ処理などは、必ず使う経費なので、数年度分をまとめて、支出する予定を組んでいるのです。



じょうもん博士

湯泊港の災害復旧に関し 工事の進捗は

問 石田尾茂樹 湯泊港の災害復旧に関し、非常に気象条件が厳しくて、(新しいケーソンを据えるのに)困難を極めていると聞くが、現状はどうなっているか。

答 建設課長 台風や時化もあり、まだケーソンが座っていない状況。海中の慣らしの部分も少し動いてしまっていて、その部分の確認も行う。ケーソンが12月中に運べて、設置できれば、今年度中に事業を終了できる見込み。



湯泊港災害復旧工事箇所（堤防ケーソン）

上水道事業特別会計では 研修旅費が多いのでは

問 大角利成 企業会計に詳しい職員を採用していると聞いていたが、他の会計では上がってきていないような研修旅費が計上されている。そのように取り組む姿勢について説明していただきたい。

答 生活環境課長 企業会計の制度が複雑であり、消費税やインボイスの関係のこともあるため、積極的に研修に出たい。こういった研修が、他の会計にも波及すればよいと思っている。

陳情「安定した介護サービスの体制整備への取り組みについて」を採択

介護事業所の閉鎖や人員不足がある現状で要支援者や要介護者、その家族の暮らしを守ることが可能なサービスや、地域で支えあう仕組みづくり、人材の確保に向けた具体的な施策を町全体として検討していただきたい、という趣旨の陳情を採択した。

現地視察調査

12月13日に、千尋の滝頭首工、営農支援センター、子育て支援センター建設予定の屋久島町総合センターの現地調査を行った。



千尋の滝頭首工



営農支援センター

一般会計補正予算に対する 委員会修正案について (口永良部島出張所改修費)

私は3月議会でこの事業に賛成し、**原案に賛成!** 議会を通った。特定離島ふるさとおこし推進事業を申請したとしても、補助率、補助事業の内容が非常にまだ不確定なところがある。ただ、職員の住宅も大事だが、口永良部島に入ってくる方々の住宅の建設も、この案件とは別にまた審議にかけていただきたい。



中馬 慎一郎

**修正案に
賛成!**



岩間 卓幸

委員会の修正案に賛成。3月の議会の時にも修正案を出し否決されたが、その時町からは「補助金や地方債を充当する道があれば、そちらを検討する。」とのことであった。しかし委員会の中で分かったのは、今に至るまで、町は補助金等の充当可能性を検討していなかったという事実であった。町民の税金で事業を行うにあたり、補助金等の調査もされなかったというのは、適切な事務処理ではないように思う。

公共施設管理計画の中に位置付けられている行政系施設は35施設程あるが、これらを全て一般財源だけで修繕するのか。この施設だけを補助金無しで、5,000万円以上の一般財源をかけて修繕することに町民の納得が得られるか。

口永良部島出張所は事務所が2階にあり、トイレの使い勝手も悪いことから、口永良部島島民から度々要望が出ていた。町長と島民との意見交換会でも異論は出なかったと聞いている。



榎 光徳

2階に職員が住む案についても、本庁に警備員を配置しているのと同じ事で、有事の際や緊急時の対応等の安心感に繋がる。既に設計も終えており、一刻も早く完成させるべき。

**修正案に
賛成!**



高橋 義友

3月議会でも、同僚議員から地方債や補助事業を活用するよう願いがあったが、検討をされていなかった。特定離島ふるさとおこし推進事業では、航路待合施設整備の名目で補助対象となりえる。補助事業を活用しないで一般財源を執行するのは財政面からしてもおかしいと思う。

私も補助金を使えるならばと、委員会では修正案に賛成したが、委員会終了後、色々な立場、考えを持った。不確定なものをあてにしてよいのかということもある。2階の住居については、職員のプライバシー保護の観点から、もう少し考えていただきたい。



相良 健一郎

**修正案に
賛成!**



渡邊 博之

先ほどから財源が不確定との意見もあるが、担当課から鹿児島県に電話をして、職員住宅が無ければ採用の可能性はあるとのことであった。財政の効率性の意識が、この事業に関しては無かったと指摘せざるを得ない。生活の場が公共施設内にあることで、火災等のリスクも無いとは言いきれないのではないかな。要するに建物の改築と、口永良部島の住宅難の解消は、別々に考えて進めて欲しい。

3月の当初予算で既に可決をされている。この度の実施設計は、口永良部島島民の要望を受け、島民の利便性を向上するため、トイレのバリアフリー化をはじめ、計画には無かった外壁工事を行うと聞いている。町が事業を執行するにあたり、各種補助事業等財源の確保を検討することは当然のことだが、時と場合によっては、町民の生命・財産を守るべく、一般財源を投じてでも早急に実施しなければならない場合もある。



角 利成

今回の補正予算案は、口永良部島の現状と将来を見据えた、町長の裁量の英断と評価する。

修正案に
賛成！

真辺真紀

補助事業が不確定という話が出ているが、裏を返せば採択される可能性があるということ。もう一つは、職場が住まいになるということは、島民の目線からすると利便性が良いと思うが、現代は労基法もどんどん改正され、労働者の過重労働を防ぐべく、各職場でも働き方改革がなされている。島民と職員の両方の目線から見ることも大事で、一度立ち止まって考えるべき。

この事業の内容は、そもそも当初予算で可決されている。今回の予算は、島民の意見を反映し、トイレをバリアフリー化するための補正予算だと認識している。6月の意見交換会の中でも誰ひとり反対をした人はいなかったと報告も受け、ここで止めることになったら議会の責任を問われ、島民の意見を裏切ることになると思う。定住促進や住宅事情のことは別問題で、今回の補正予算を通して、立ち止まることなく、口永良部出張所を改修すべきと考える。

原案に賛成！



岩山鶴美

■修正案採決■

①修正案に賛成：6名

岩川卓誉、小脇淳智郎、真辺真紀、渡邊千護
高橋義友、渡邊博之

②修正案に反対：8名

内田正喜、中馬慎一郎、相良健一郎、岩山鶴美
榎光徳、日高好作、岩川俊広、大角利成

※緒方健太は欠席。

■原案採決■

①原案に賛成：8名

内田正喜、中馬慎一郎、相良健一郎、岩山鶴美
榎光徳、日高好作、岩川俊広、大角利成

②原案に反対：6名

岩川卓誉、小脇淳智郎、真辺真紀、渡邊千護
高橋義友、渡邊博之

※緒方健太は欠席。

令和3年度決算を認定

決算審査特別委員会 委員長 榎 光徳

■委員からの質問・指摘の内容■

福祉支援課

(問) 高齢者バスの利用者は何名か。南部は利便性が良く、北部は悪いと聞くが対策は。

(答) 北部は朝便が宮之浦港発の為、要望はしているがなかなか進んでいない。

生活環境課

(問) 上水道事業の関係で、集金体制はいつまで続けるのか。

(答) 現在、約 7,000 件中 4,000 件が口座振替。徴収員制度は今後廃止の方向。

政策推進課

(問) 屋久島空港の拡張について、議会も特別委員会を設置しているが、今後の取り組みは。

(答) これまでに要望活動により一定の成果があった。ある程度スムーズに推移しており、特段の要望活動は必要ないと思っている。

社会教育課

(指摘) 尾之間中央公民館の管理が良くない。階段等、もう少し気を配り管理をして欲しい。

教育総務課

(問) 教育支援センターの運営については。

(答) 北部に 12 名、南部に 5 名通所している。

地域住民課

(問) マイナンバーカードの取得率は。

(答) 令和4年9月末で 64.6%。全国で 31 番目。

町民課

(問) 合併当時 1 億 2,000 万円程度であった、たばこ税の推移は。

(答) 今は 8,000 万円程度。

観光まちづくり課

(問) 定住促進事業について、ターゲットや目標があるか。

(答) ターゲットは若者で、審査項目も若者を高く設定している。

建設課

(問) 多くの空き住宅があるにもかかわらず、募集が年 3 回となっているが間隔を短くできないのか。

(答) 空いた段階で畳替えや修繕を行う。大工との打ち合わせ等もあり、随時対応するというのは厳しい状況である。



※議会の様子を
Youtubeで配信
中です。

12月16日① 12月16日② 12月16日③

■令和4年第2回臨時会 令和4年11月30日

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

	結果	岩川卓誉	内田正喜	小脇淳智郎	中馬慎一郎	真辺真紀	相良健一郎	岩山鶴美	渡邊千護	榎光徳	緒方健太	高橋義友	日高好作	岩川俊広	渡邊博之	大角利成	石田尾茂樹	関連ページ
令和4年度一般会計補正予算（第7号）の専決処分事項報告承認	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和4年度上水道事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分事項報告承認	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
屋久島町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
屋久島町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
屋久島町立学校職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和4年度屋久島町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	12
令和4年度屋久島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和4年度屋久島町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和4年度屋久島町診療所事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和3年度後期高齢者医療事業特別会計決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和4年度屋久島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和4年度屋久島町船舶事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
令和4年度屋久島町電気事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

すこやかふれあいセンターの
災害復旧は

議員の視点

災害復旧費 660 万円のうち
すこやかふれあいセンター
の修繕はいくらか。また、
いつまでの工事となるのか。



大角利成

答 福祉支援課長 130 万円で、今年度いっ
ぱいの修繕を予定している。

永田水源地のウォーター
スクリーンフィルターとは

議員の視点

永田の水源ウォータースク
リーンフィルター、これは
何年かに一回、換えるもの
なのか。



岩山鶴美

答 生活環境課長 永田の取水口に3枚
貼っているが、そのうち2枚が台風で
流出したため、購入して設置する。

重機借り上げの単価は

議員の視点

重機借り上げ料の単価は。
日割りや時間割計算なのか。



渡邊博之

答 建設課長 重機の高さによって、単
価等も異なってくる。小さい方のユン
ボで1日1万円ちょっと。今回は、台風14
号の関係で倒木等も多く、大目に予算計上を
させて頂いている。

■令和4年第11回全員協議会 令和4年12月9日 【新ごみ処理場に関する担当課からの説明】

□令和4年5月9日

設計と建設を一括して事業者が行う、総合評価方式の一般競争入札の公告を行った。

□令和4年5月30日

入札の締切日で、3社が申請をした。

□令和4年7月22日

基礎審査技術提案書の提出の段階で、1社が入札参加の辞退届を提出し、2社となった。

□令和4年9月21日

ここまでに町と事業者の間で確認等を行い、改善後の基礎審査技術提案書と技術提案書の提出を受け、入札が行われた。

□令和4年11月24日

2社によるプレゼンテーションと同時に、金額の開札が行われ、東京都のテスコ株式会社が落札した。各社の評価については、屋久島町ごみ処理施設整備事業選定委員会が行った。

渡邊博之 もう1社はどこか。

生活環境課長 川崎技研。技術評価点はテスコが42.97点、川崎技研が49.22点、価格評価点はテスコが30.00点、川崎技研が失格。（予定価格よりも高額の入札であったため。）

岩川卓誉 山岳部バイオトイレのし尿を含んだおが屑や、携帯トイレは新処理場で燃やせるか。

生活環境課長 バイオトイレのカスや携帯トイレは新処理場で処分する予定。

真辺真紀 契約金額が約27億円だが、これは本体工事で、他に整地等も入れて、総額はいくらか。また、現施設の除却にはいくらかかるか。

生活環境課長 整地の見積もりは取れていないが、そこまで高くは無いのではと思っている。現在の炭化炉は施設が稼働してから2年以内に除却予定で、除却には4億円程度かかる見通し。

小脇淳智郎 環境省の補助金はいくら出るか。

生活環境課長 実際には補助金の対象外になる経費もあるが、3分の1という決まり。



新ごみ処理場の鳥観図

■屋久島町交通対策調査特別委員会報告

これまで8回にわたり、委員会並びに関係機関等との意見交換会を開催した。

□令和4年4月20日

鹿児島市の市丸グループ本社において、種子屋久高速船株式会社社長らと意見交換。改正離島振興法の中で、高速船の補助制度について議会も一緒に要望してほしいとの要請を受けた。

また、県町村議長会の会議室において、日高滋県議会議員同席の下、県土木部港湾空港課長と、屋久島空港整備に関する意見交換を行った。県からは、事務手続きは令和5年度中に終了したいとあり、主にJAL、ANA、スカイマーク各社とジェット機就航の確約を交渉している、8年ほどかけて整備するとのことであった。

□令和4年5月18日

鹿児島市の折田汽船株式会社で常務取締役、総務部長と意見交換。フェリー屋久島2については、更新も考えているがなかなか厳しい。

宮之浦港の静穏度を高めてほしい等の要望があった。

□令和4年8月30日

屋久島町本庁議会棟において、県屋久島事務所長と意見交換。整備に伴う地権者からの同意書について、3分の2以上の方々からの同意を得られているとの説明があった。

□令和4年9月20日

荒木町長と意見交換。これまでの情報を基に協議を行い、引き続き要請活動を行うことを確認した。



屋久島空港滑走路

一般質問

16人中11人が一般質問しました。

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会の場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。

一人の議員に与えられる制限時間は60分です。(一般質問は、議員本人の責任において掲載しています。)

岩川俊広	P
1. 防災対策について	14
2. 遊休農地対策について	
中馬慎一郎	
1. 旧一湊中学校の利活用や管理について	15
2. 山岳部し尿搬出の課題と処理について	
高橋義友	
1. 屋久島町漁村センターの管理について	15
2. 初代太陽丸就航50周年の催し等について	
3. 一湊小学校校庭の古木の保全について	
緒方健太	
1. 選挙公約の達成状況について	16
2. 次期町長選挙について	
日高好作	
1. 町営住宅入居について	16
2. 県道の整備について	
3. 農業の振興について	
岩川卓誉	
1. プレミアム付き商品券について、口永良部島での利用促進をどのように考えているか	17
2. 奨学金制度を定住補助型に拡充する考えは	
3. 移住者住宅取得事業補助金制度の見直しは	
大角利成	
1. 町道荒川線の維持管理について	17
小脇淳智郎	
1. 屋久島の今後の歯科医療の展望について	18
2. 町民の充実した健診について	
3. 火葬場の処理について	
渡邊博之	
1. 福祉充実について	18
2. 政治姿勢について	
岩山鶴美	
1. 屋久島町育英奨学資金について	19
2. 福祉の人材不足について	
3. 公共交通機関の不足について	
真辺真紀	
1. 子育て支援センター開設について	19
2. 町長の交際費について	
3. 口永良部島水道工事補助金返還について	



岩川 俊広 議員

各集落の避難場所の指定は。



町長 町内全ての地域で指定。

問 永田地区の避難場所の指定はどのようなになったのか。

答 **町長** 永田小学校を指定避難場所として掲載していたが、令和4年の改正で指定緊急避難所に永田果樹会館、ふるさと創生会館の二か所を追加し、指定避難所についても指定緊急避難所と同一の三か所を指定している。

問 空いている町営住宅の使用はできないか。

答 **建設課長** 避難場所として明記されていない。今後検討していく。

問 学校使用の場合、体育館に限らず校舎も使用できるか確認したい。

答 **教育長** 緊急の場合で、体育館も使えないような場合には、使用可能。

問 指定避難所のエアコン、発電機等の整備状況は。

答 **町長** 発電機は、各集落に小型発電機の配置が完了し、体育館や避難所の一部には大型の発電機を備えている。エアコンについては、公民館等に導入しているが、他の施設には導入していない。各施設の状況把握に努め、必要に応じた環境の充実に努めたい。

遊休農地の解消策は。

町長 農地バンクで対応する。

問 遊休農地を活用して、畜産用の飼料米や稲わら等を生産する仕組みを考えては。

答 **町長** 補助の対象になる水田で、農家が作付けする意欲があれば積極的に取り組んでいただきたい。



申馬 慎一郎 議員

旧一湊中学校の利活用についての今後の方向性は。



高橋 義友 議員

屋久島町漁村センターの管理運営は。



町長 地域や民間活力を活用する方が望ましい。

問 校舎内の菌床栽培事業者の現状と今後の動向はどうなっているか。

答 **町長** 校舎内での菌床栽培事業は、コロナ禍で外食産業等への販路の減少により、現在は生産を休止している。ただ貸付料の支払いは続けており、事業所としては事業の再開時期を見極めている状況である。契約が令和6年までとなっており、その時点で事業閉鎖となった場合は、契約条項に基づいて貸付け前の原状回復をして返還という事になっている。

問 休止しているデイサービス事業の今後について

答 **町長** 事業者から現時点での再開予定は未定と聞いており、町としては迅速な解決を期待し再開できるよう要請をしている、施設については、再開までは機能訓練を目的としたアトリエや展示会場として地域に密着した利用を検討中と報告がある。

山岳部のし尿搬出の処理方法は。

町長 山岳部トイレ環境の改善に向けては、実効性のある方を継続し、今後も検討を続けていく。

問 現在、仮置きしてある高塚小屋のし尿搬出の原因と対策方法を問う。

答 **町長** し尿搬出するトロッコの修繕に時間がかかっていたが、これまで搬出できなかった分については、委託業者とも連携をし、速やかに搬出作業を行いたい。

問 ドローンを活用したし尿搬出などの検討や検証実験は今後見込まれるか。

答 **町長** 現地で実証実験を行い、技術的な面や安全面で様々な検証を行う必要があると考えている。

問 屋久島町漁村センターの現状は。

答 **町長** 漁村センターは建設から41年が経過し、屋久島漁協を指定管理者として管理を行ってきたが、漁家の減少や漁協の業務縮小に伴い活用がほとんど無く、長期にわたり閉鎖されたままとなっていたため、令和4年5月1日付で指定を取り消し、現在に至っている。

問 今後の漁村センターの管理運営は。

答 **町長** 築後41年が経過し、今後取り壊して新たな施設を建設する場合と、今の施設を改修する場合のどちらが効果的か、財源をどうするか、利活用をどうするか検討したい。

問 一湊区から要望のあった漁村センターの改修工事は。

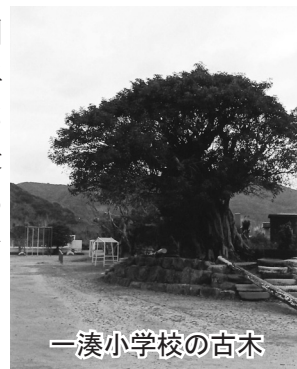
答 **町長** 改修するには多額の予算が必要になる。再度一湊集落との協議を持ちたい。

12月に、初代太陽丸が就航し50周年を迎えるが、催し等を計画しているか。

答 **町長** 役場本庁フォーラム棟で、歴代の町営船の紹介や就航当時の時代背景、太陽丸の由来となった太陽国体の模様、元船長へのインタビュー、個人から借用した三代目フェリー太陽の模型の展示、町営船の思い出の寄せ書き等を展示している。ここで使用した写真の一部は、フェリー太陽Ⅱ船内、口永良部島出張所、金岳小中学校でも見られるようにしている。

一湊小学校校庭の古木の保全について

答 **教育長** 樹木匠の判断ではここ1、2年の間に倒木の恐れはないが倒木予防、樹勢の維持、木を元気に長持ちさせるための手立て等、樹木匠のスケジュール等も確認しながら診断を仰ぎたい。



一湊小学校の古木



緒方 健太 議員

選挙公約の達成状況について。



問

7つの公約を実現するためにどのような事業を行ってきたか。

答

町長 多様な集落の特性を基礎にした、集落自治の活性化の支援については、集落が計画し自ら実践できる支援事業として「屋久島町まち・ひと・しごと創生補助金」「屋久島町集落の活力アップ交付金」を創設し、各集落が地域の課題解決や目指す地域づくりに向けて創意工夫し取り組んできている。職員による集落支援制度についても、台風待機などをスタートに取り組みを進めているところである。

お年寄りから子供まで住み慣れた地域で生き生きと暮らせる人情豊かなまちづくりでは、高齢者バス制度を実施し、免許返納者にも広げて運用してきている。

また、子供の医療費助成に取り組み、乳児から高校生までの医療費無償化を実現した。学校と家庭と地域が一体となった教育環境の整備については「学校を基礎とした地域づくり」を目指し「地域学校協働活動推進員」を委嘱して取り組んだ。

また、学習能力の向上に向けて学校教育のICT化を図った。

持続可能な屋久島観光の創造、地域経済の振興については、潜在的な屋久島の魅力をPRする為「里のエコツアー」に取り組み、地域毎に特色ある取り組みを進めて頂いている。

また、アフターコロナに備え、観光事業者の持続化支援などを行ってきた。今後の屋久島観光は「量」から「質」への転換が非常に重要なものになると考えている。

屋久島ブランドを活用した農林水産業の育成と働く場の確保については、JAと協力し屋久島ブランド産地定着化事業を実施している。

また、農業振興の基本として収入機会の長期化が必要と考えることから、新規作物の導入に向け、営農支援センターの硬質プラスチックハウスの改修などを実施し取り組んでいる。

林業、木材産業は、屋久島地杉の特性を生かし全国的な生産、販売が実施されている。

水産業については、漁業施設の整備などを計画的に実施し、基盤整備に努めてきた。



国高 好作 議員

独身の方が入居できる町営住宅が少ないが、条件付き方は考えられないか。



答

町長 入居希望がない世帯用の団地はハードルを下げられないか検討したい。

問

町内全域で繁茂している、シロノセンダン草の県道の適切な除去、改善は。

答

町長 県はコンクリートで覆う対策やパトロールで安全な通行を確保する意向。

問

竜天園前の歩道が一部なく車道を歩いているが歩道の設置は出来ないか。

答

町長 町も認識はしている。筆界未定の課題もあるので、県に協力していく。

問

「人、農地プラン」から見えてくる本町農業の将来をどのように捉えているか。

答

町長 6地区のプランがあるが、農業振興を推進する地域を絞って施策の推進や、Iターン農家の育成も図っていく。

問

ポンカン种植面积が減少する中で、補完作物が必要と考えるが。

答

町長 他品目も導入して換金機会の長期化、収入のある期間を延ばす施策を行う。

問

肥料費・飼料費の高騰の対応には耕作放棄地の活用が重要と考えるが。

答

町長 飼料費が高騰している今、自給飼料率の向上は大事。放牧も手立ての一つ。

問

生産性の向上には管理センターの存在が大きい。機械整備や負担金の増額は。

答

町長 新たなトラクターを導入した。作業員確保に努め、運営が厳しくなれば負担金の増額も考えていく。

問

農家の基準は30aだが、基準に満たない生産者の実態をどう捉えているか。

答

町長 下限面積を少なく設定しても、現在の農業情勢で新規就農者の増加は望めないが、本年3月31日で下限面積要件が撤廃されるので基準の検討が必要になる。

問

ぽんたん館には62名の生産者が出品している。彼らを応援する施策も必要では。

答

町長 屋久島の農業をどうやって行くか肝に銘じてやっていきたい。



岩川 卓登 議員

口永良部島の住民はプレミアム付き商品券をほぼ使用できなかった。対策は。



大角 利成 議員

町道荒川線の維持管理について。



問

30%のプレミアム付き商品券は、口永良部島内でも、ガソリンやお酒など使用する場面はあるので、島独自の商品券の導入を検討できないか。

答

町長 口永良部島だけを特別にという考えは今は無い。口永良部島内の商店が、商工会の会員になる等、方法があるのでは。

問

お店が加入するかどうかの問題ではなく口永良部島の住民は、屋久島に來ないと商品券を買う事さえできない状況。不平等では。

答

町長 そうかもしれない。次にやる時は、平等性を保てるようなやり方でやる。

奨学金の定住補助型への拡充は。

問

33 都道府県 487 自治体で、当該自治体に居住すると月々の奨学金返還を支援する制度が確立している。若年層人口の社会増を図るため、屋久島町でもそのような取り組みを実施できないか。

答

教育長 大変意義がある制度だと私も思うが、持続的に実施するためには財源のことを考えなくてはならない。

問

財源について、総務省自治財政局財務調査課長名で、2分の1の交付税措置がされる旨、また、積極的に奨学金返還支援制度を実施する旨の通知があることは知っているか。

答

教育長、町長 交付税措置については把握していなかった。

答

副町長 令和6年度の貸し付けから、Uターン者を対象に、実施を検討している。

現行 250 万円の住宅取得助成金を最高 1,000 万円とし、現住民の子育て世帯への支援や、Uターン者、専門資格保有者の移住を促進し、若年層の人口増を図れないか。

答

町長 政策提言をしてもらえれば内部で検討をし、政策実現に向けて努力していくということはやぶさかではない。

町長

部分的な改修を年次的に実施したい。

問

山間地域の町道荒川線の年間通行車両及び利用者はどの程度か。

答

町長 3月から11月までのシャトルバス運行期間は把握している。令和4年は、バスが1,616台(利用者数41,999人)、タクシーが503台(利用者数1,854人)。一般車両が通行できる12月から2月までは把握していない。

問

12月から2月についてカメラを設置し把握したらどうか。検討したことは。

答

町長 カメラ設置等の議論はしたことがない。

問

年間を通して把握する上からも検討してほしい。路面整備等、今後の計画はどのようになっているか。

答

町長 2車線等の大規模改修は考えていない。急カーブの改修等、離合場所も含め、部分的な改修を年次的に実施したい。

問

12月から2月までの期間、登山道入口駐車場は混雑していないか。今後の整備計画についてどう考えているか。

答

町長 冬場の3ヶ月間についても現状の駐車場で十分賄えていると思っているが、バスUターンの未舗装の部分について、今後どうするか内部で検討中である。

問

屋久島電工のダム見学ができるように、周辺に駐車スペースを確保すべきと思うがどうか。

答

町長 ダムが見学できる方向で検討したい。駐車スペースは必要と考えている。

問

町道荒川線を県道に移管して、管理をお願いする考えはないか。

答

町長 町道から県道に移管した屋久島公園安房線、並びに白谷雲水峡線の早期改修完了を県へお願いしている。西部林道整備の件もあるが、今後、町道荒川線の要望についても検討したい。



小脇 淳智郎 議員

屋久島町の、今後の
歯科医療の展望につ
いて。



渡邊 博之 議員

「補聴器補助」の必
要性は。



問 屋久島で開業したい人材の確保のため、
具体的に鹿児島大学歯学部を学生を対象
にしたアンケートをお願いできないのか。

答 町長 本町においては、具体的な計画等
は策定していない。今後、町内歯科医師
との意見交換や郡、県歯科医師会等の意見交換
を重ねながら、課題を整理し、地域医療の観点
からどのような施策を講じることができるか
検討して参りたい。

町民の充実した健診について。

問 健診後、要精密検査、手術等で島外の病
院を利用する際の追加費用について、町
単独の補助は出来ないのか。

答 町長 島外受診に対する渡航費用や診察
費等を補助するとなった場合、膨大な予
算が必要となることが予想され、財源の確保が
必須であるので難しい。

火葬場の残骨灰の処理は最終的にどう
なっているのか。

答 町長 今年度の委託料は7万7千円。
28年度は12万3120円、広域連合
時代は2tトラック1台分が50万円だったの
で、現在は安くなっている。

問 残骨灰からは、有価金属がたくさん出
る。屋久島町の財政に回してほしい。

答 町長 5年に一回、契約をやり直すので、
次の契約の時に話し合っていきたい。

意 またの機会に質問するので、調べておい
て欲しい。



屋久島町斎場

問 緩やかな流れだが「補聴器補助」の自治
体が増えてきている。難聴が認知症やう
つ病の一つの要因と言われている。補聴器補助
制度の必要性について認識をお聞きしたい。

答 町長 私の周りにも補聴器に頼っている
人がいるので、おっしゃることはよく理
解している。難聴の方がどれくらいいるのか、
調査もして今後検討していきたい。

学校給食費の父母負担軽減について、
公約としていたが。

問 以前にも質問していたが、学校給食費
の父母負担軽減は町長の公約の一つであ
り、それは守られるべきだ。今年で町長の任期
が切れるが、実施するのかどうか。

答 町長 これまでも、食材費の高騰の中
でも、保護者への負担増にならないよう配
慮してきた。無償化はもう世の流れになってき
ている。公約は守る。一気にというわけにはい
かないかもしれないが、2子、3子からという
考えも持っている。新年度
からと思っているが、その
方向性はきち
っと守る。



学校給食（中学校）

屋久島高校への寮や下宿の設置の必要
性は。

問 遠地から通う生徒は、往復3時間かけ
て通学している。学業への影響も大きい。
増え始めている留学生の受け入れ制度と同じ枠
組みの中で、この問題を解決できないか。

答 町長 調査で寮や下宿の希望については
6%にとどまっていることも踏まえ、今
のところその必要性はないと考えている。ただ
これから先、留学生が増えてきて、下宿確保が
困難な状況になれば検討したい。



岩山 鶴美 議員

育英奨学金の収納の成果が上がらず苦心している現状をどう捉えているのか。



真辺 真紀 議員

子育て支援センターについて見通しは。



答

教育長 費用対効果だけでなく、公平性・平等性の観点も踏まえて関係部署との連携を強化し、債権の回収に努めていきたい。

問

集金業務を外部に委託する方法を考えたことはないか。

答

教育長 担当課、財政とも相談をしながら検討したい。

問

屋久島にUターンし、働く人に返済免除等をする考えがないか。

答

教育長 すべての奨学金希望者に不利益がないような制度となること。まずは、町内在住の奨学金貸与希望者を対象にした検討を令和6年度よりの募集から始めたい。

意

大変朗報だと思うので、周知の仕方を目立つように掲載をお願いしたい。

福祉の人材不足について。人材バンク登録の必要性がないか。

答

町長 専門資格者で短時間勤務が可能な方も活用できるように自主的な登録を前提に個人情報に配慮し、前向きに検討したい。

意

人材不足の原因に、給料が見合っているかどうかという点もあると思う。土日や夜も呼び出されている専門職の給料見直しを検討し、実態等を把握していただきたい。

公共交通の不足について島民の利便性を考える時に、現状をどう捉えるか。

答

町長 公共交通システムの検討を行い、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共ネットワークを構築するために、作業を進めているので引き続き協議会において検討してまいりたい。

世界遺産登録30周年を迎え、町は何を明確にしようとしているのか。

意

環境文化村構想は終わりのないプロジェクトである。時代と共に受け継いでいかなければならないので、一人でも多く町民がこのことを理解して皆でやっていきましょう。

町長

なるべく早い時期に開設できるよう準備する。

問

実際にどういうニーズがあるのかというのを対象者に聞いて欲しい。開設にあたり、広報の時期は。

答

町長 新たな事業なので広く町民に伝える。まずは町報等々で提供していきたい。

問

実際に利用する世帯や専門職の意見聴取が必須であると考えるが、実施予定は。

答

町長 利用者のニーズに可能な限り答えるためにも、専門的な部分も含め、実際に利用をされる子育て世代の方々の要望などを取り入れながら進めていく必要があると思う。

問

実際に開設してからなのか開設する前なのか、時期は。

答

福祉支援課長 早めにワークショップやアンケートを実施したい。町民の協力を頂きながらワークショップを開催できれば、色んな意見も聴取できるかと思う。

町長交際費について、昨年度と比較すると支出を控えているが、理由は。

答

町長 5年ぐらい前から、例えば光ファイバー、過疎法、今度の離島振興法の改正延長等々、色んな先生方（国会議員）にはお世話になった。一通りめどがついたのと、色々指摘もあるので見直しをしている。

問

過疎法に関しては議員立法なので、過疎法に入る、入らない自治体を決める権限がある。議員が決めるところに贈り物をしてしまうということは、国家公務員に贈り物をするのと極めて等しい行為かと思うがいかがか。

答

町長 実際、自民党の中で素案をつくる。自民党の過去の委員長へ出向いたり、周りにも情報収集などで色々お世話になった。

問

そのやり取りの中に贈答品は必要ないと思う。お互い仕事なので。

答

町長 実際、自民党の中で素案をつくる。自民党の過去の委員長へ出向いたり、周りにも情報収集などで色々お世話になった。

■ ■ 特集 屋久島高校生と議会との意見交換会 ■ ■

令和5年1月27日、これまでコロナ禍で実施できていなかった、屋久島高校の生徒の皆さんとの意見交換会を、3年ぶりに実施しました。生徒の皆さん12名、先生方が2名、議員が14名参加し、活発な意見が出されました。

（高校生）島外からの生徒のための寮を作ってほしい。

（議員）過去にも議論になったが、当時の県教育委員会は寮を作らない方針だった。現在は下

宿費用を補助している。

（高校生）バスの運行数を増やしてほしい。

（議員）島内交通の特別委員会で、小中学校の調査を行っている。高校でも調査させて欲しい。

（高校生）インターンシップで中央中学校に行き、屋久島高校について話をしたところ、何人かの中学生から、屋久島高校について初めて聞くことばかりであったと言われた。小中学生と屋久島高校生が話せる場が必要だと思う。



編集後記

議会と屋久島高校の生徒の皆さんとの意見交換をさせていただきました。島に一つしかない、大事な屋久島高校の健全な形での存続や、より良い学校活動を送るための具体的な意見を直に聞かせていただくことができました。高校生の皆さんの声を大切に、改善が可能なことは積極的に取り組んでいきます。

真辺 真紀

議会の動向

日付	内容
1月 3日	ふるさとを思う二十歳の集い
6日	消防出初め式
11日	第1回議会運営委員会
	世界自然遺産・国立公園に関する意見交換会
18日	世界自然遺産5地域会議
27日	第1回議会全員協議会
	第1回議会定数等調査特別委員会
	議会と屋久島高校生徒の意見交換会
2月 6日	屋久島空港利用促進協議会要請活動
17日	県町村議会議長会定期総会
	県離島振興町村議会議長会総会
	種子島屋久島振興協議会第2回総会
18日	県下一周駅伝競走大会熊毛チーム応援
20日	第1回熊毛地区消防組合議会定例会
	産業厚生常任委員会所管事務調査
3月 1日	屋久島高校卒業式
	第2回議会運営委員会

ご意見募集

広報委員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。生活のお困りごとや、町政への提言、取材の申し込み等、以下の方法によりご連絡ください。ご氏名、ご住所、ご連絡先、ご意見等の内容が分かるようお願いいたします。

郵送：〒891-4292 屋久島町小瀬田 849 番地 20

議会事務局（広報委員会）宛て

Mail: gikai@town.yakushima.kagoshima.jp

LINE: @599vfnm

（右のQRコードでも登録できます）



ご意見お待ちしております！

議会を傍聴しませんか

次の定例会の予定は、

3月 7日 開会

3月 8日～ 一般質問

3月24日 最終本会議

※都合により変更となる場合があります。

※傍聴の際は、新型コロナウイルス感染防止のため、手指の消毒等にご協力をお願い致します。

令和5年3月 第61号 屋久島町議会だより 発行責任者：屋久島町議会 議長 石田尾 茂樹

編集責任者：屋久島町議会広報委員会（委員長：岩川 卓誉 副委員長：真辺 真紀 委員：中馬 慎一郎 委員：渡邊 千護）

TEL 0997-43-5900（議会事務局 内線 341） Mail: gikai@town.yakushima.kagoshima.jp